

Berlin

200歳の誕生日を迎え、ついに修復完成!

今年で創立200周年を迎えたベルリン自然史博物館。9月に全館の修復工事を終え、ドイツ最大かつ世界でも5本の指に入る膨大なコレクションの全貌が、ついに姿を現した。1810年、もともと3つの博物館として始まったこのコレクション。現在では、所蔵品総数は約3000万点、展示空間は6600㎡にも及び。9月に再建が完成した東棟は、3000㎡の広さに30万本のエタノール標本をずらりと並べた、幻想的な空間。中央ホールにある恐竜の復元骨格は、世界最大級の大きさを誇る。

200歳の誕生日を祝って週末には入場無料、夜10時まで開館時間を延長した。夜は職場のグループやカップルの姿も多く、大人も楽しめる博物館の新たな姿をアピールできたようだ。



3年前の中央ホール再オープンに合わせて復元された、プラキオサウルスの骨格。長さ23m、高さ13m。



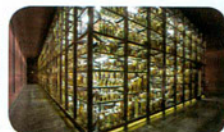
Museum für Naturkunde

● Invalidenstr. 43
☎ (030) 2093-8591
① NATURKUNDEMUSEUM
開 9時30分～18時(火～金)
10時～18時(土、日、祝)
休月 月 6ユーロ
www.naturkunde-museum-berlin.de



19世紀末に、3つの博物館をこの場所に集めた。

左から：12kmにわたり今回初公開となる魚類などの標本。65年の月日を経て再建された東棟。顕微鏡の標本観察コーナー。



疾走する ベルリン

◎BOULEVARD DER STARS



上：ヴェンダース夫妻。この後、監督は星の横にひざまずいて大喜び。
左：ゾニーセンター前の中央分離帯320mが深紅の大通りとなった。



右：覗くと……左：スターの姿が。「ベルリン・天使の詩」の天使役B・ガントツ(右)とヴェンダース監督。

ドイツ映画史のスターたちに出会う、大通り。

毎年2月には、映画祭のメイン会場としてレッドカーペットに覆われるポツダム広場。しかし、今年はずいで9月から深紅に彩られている。ドイツ映画史の重要なスターたちの名前を刻んだ星形を埋めた通り、「ブルバール・デア・スターズ」が完成したのだ。

今年の映画祭開催時には、荣誉ある最初の星を、マレーネ・ディートリッヒに授与。その後、厳正な審査を経て、ドイツ映画史を彩る40名がセレクトされた。監督、俳優はもちろん、スタッフ陣も名を連ねている。

星の横には、スターの姿が見える仕掛けの覗き眼鏡を設置。立ち位置を調整すれば、スターたちと握手をしたり抱き合ったりする写真を撮ることもできるというわけで、映画ファンのみならず、観光客にも人気。ドイツ映画の知名度アップ貢献に期待したい。



左から：「メトロポリス」のフリッツ・ラング監督、マレーネ・ディートリッヒ、「ヒトラ〜最期の12日間〜」でヒトラ役を務めたブルーノ・ガントツ。



ドイツ
GERMANY

上手に買って、消費のヒーローになろう!

「コンズームヘルデン(消費のヒーロー)」という名の店が話題を呼んでいる。店に並ぶのは、リサイクル素材やフェアトレード、サステイナブルの商品だ。「これを買えば、あなたもヒーロー」と、オーナーのアンドレア・クゼラウ。「商品の背景を知り、賢く消費しよう」と呼びかける。

たとえばベルトや財布には、高い耐久性にもかかわらず、交換頻度の高い消防用ホースを再利用。「ヴェルクハウス」の雑貨は、福祉工房で作られる。店で扱ったのは少量生産のみ。作り手と直接コンタクトをとり、自ら納得した商品だけを仕入れる。買い物しながら、消費社会のヒーローとは?そして本当の「エコ消費」とは?と、問いかける店なのだ。



上から時計回りに：消防用ホース再利用の「フリッシュベル」ベルト各39ユーロ。「ヴェルクハウス」のメモ入れ7.90ユーロ。バスのペン立て14.40ユーロ。再利用不可の瓶を加工したグラス9.90ユーロ



KONSUMHELDEN

● Pappelallee 86
☎ (030) 6751-0343
① EBERSWALDER STR.
開 11時～19時(月～金)
11時～16時(土) 休日
www.konsumhelden.com



クゼラウは政治にかかわるステファンと店を経営



右：「ちんまり」とした店内に雑貨や文具、玩具などテーマを分けて展示。左：アイキャッチャーとして自動販売機を設置。夏の間は花の種、秋からは健康食品を提供。

map design by morsson

シヤニニ・プレツィヤ・安真 photographs by Gianni Pisciotta
河内秀子・文 text by Hideko Kawachi

*Penは月2回刊、1日と15日発売。